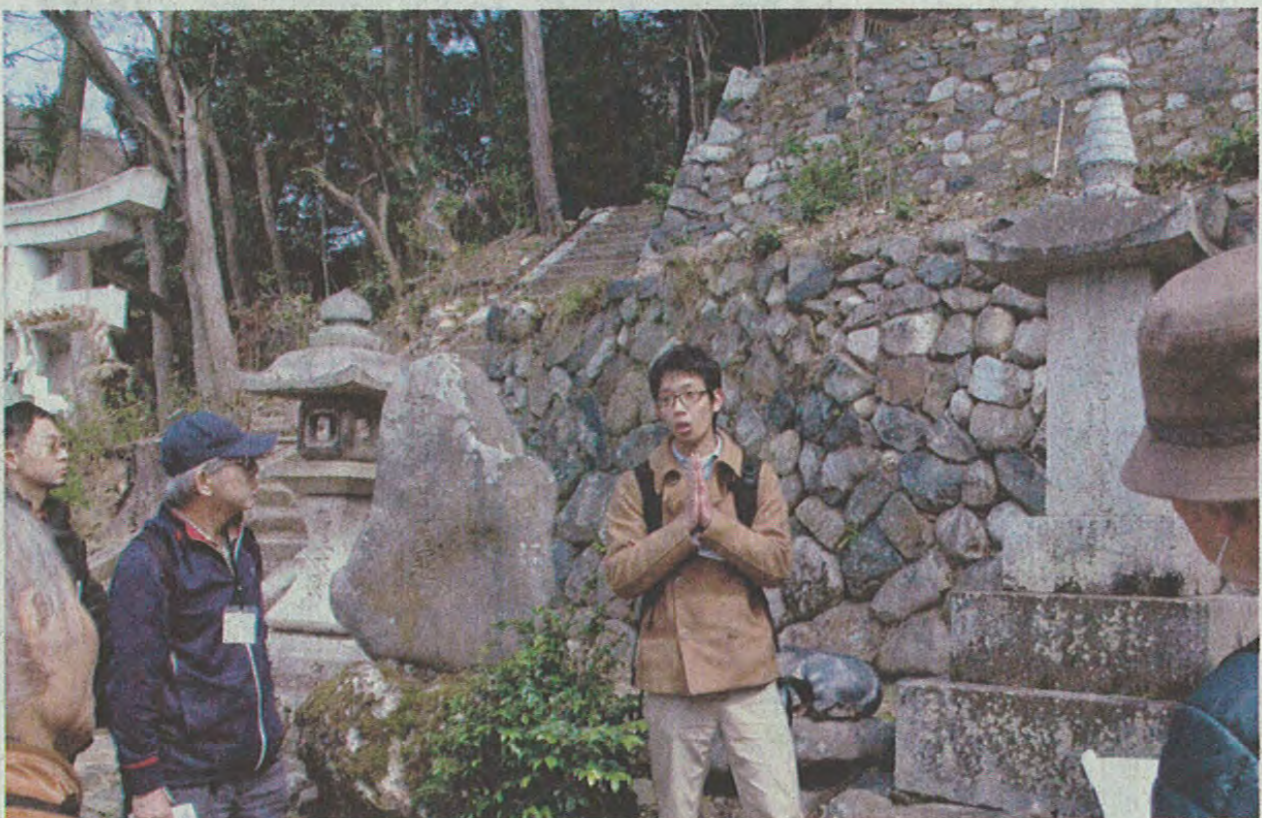


石碑や石塔に刻まれた文字から地域の歴史や信仰を解説する歴史学科の学生

(京都市左京区・岩上神社)



松ヶ崎の歴史 歩いてたどる

府立大生が案内

京都府立天文学部歴史学科の学生が案内す

るウォーキング「京都の歴史を歩こう！」が23日、京都市左京区の松ヶ崎を舞台に行われ、歴史愛好家や親子連れら30人が地域の信仰や文化をたどった。府立総合資料館と歴史学科の主催。同学科の有志学生が住民への聞き取りや現地調査をしてコースを考えた。松ヶ崎一帯は日蓮宗

が信仰されていたことを説明した。め、「南無妙法蓮華経」と刻んだ題目塔が多く、ひげのような独特の字体の意味などを解説しながら歩いた。

岩上神社では、幕末に建立された石塔の法華経の文字を紹介し、神仏習合など時代背景を説明した。

子どもと参加した地元元会社員、松村匡史さん(44)は「古文書や石塔の文字などよく調べていて、歴史専攻の学生ならではの内容だった。地元住民でも楽しめた」と話した。

(梶井進)